

平成30年度 第6回 小野申人といきいきトーク

と き	平成30年1月28日(月) 19時~20時30分
と ころ	府中市立上下南小学校
テ ー マ	子育て・教育、地域づくり、防災
出席者	学校運営協議会委員等：13名 小野市長、栗根総務部長、九十九健康福祉部長、 若井建設産業部長、石川教育部長、門田学校教育課長

《子育て・教育(CS：コミュニティ・スクール)》

CSが始まって

- ・ 学校と地域のつながりがうまくいっている。学校での試食会や農業体験、ふれあいが活発になってきた。子どもが地域行事にかなり参加している。
- ・ 上下は高校まで連携し、地域の歴史や職場体験などから地域を学んでいる。上下高校の卒業生が地元で就職したというのが、CSの芽が出たと一番実感したところ。CSを生かして子どもを地元に残すようにしたい。
- ・ 地域の人と思う以上に協力的で、遠慮すると言われる。子どもに親が知らないことを教えてくれ、子どもと地域の人との会話が増えることで、保護者も地域の人とのふれあいが増えた。
- ・ 子ども孫も通っていない学校は敷居が高かったが、CSが始まり、子どもたちといろんなことを話せる。

いじめについて

- ・ 過年いじめがあった。親を呼んでもほとんど解決はしない。いじめは、いかに早く気付くかが重要になる。先生は忙しすぎて一人一人をみることができない。
- ・ CSになって地域の人気付くことも増えた。地域の人が注意できるような環境が必要。CSを活用して人の痛みが分かる子にしたい。
- ・ 学校、地域、保護者がレーダーを持って大勢で見ることが必要。

その他

- ・ 見守り隊が高齢化している。続けるのは難しくなるのではないか。
- ・ 学校の予算が少ないため、和太鼓の修理、小学校から地域への配布物が各戸に配れず苦勞している。資源回収をしているが、もう少し、行政が考えてほしい。
- ・ 世羅高校や府中高校に通う子の交通手段を常に把握してほしい。バスも電車もいつなくなるか分からない。
- ・ 吸収合併された地域の子どもは全員バス通学をしている。中部は歩きだが遠いため、親が送迎している。市として子どもたちの通学を平等にしてほしい。

生徒全員スクールバス通学がいいかどうかは別として、JRやバスは通学にも使われている。残していくように利用しないとイケない。

市長

- ・ 今の4年生は卒業するまで複式学級になる。子どもの学力をつけるには、人員確保が大きな課題。

《地域づくり》

- ・ 人口が45,000人から現在は39,500人。5,500人が減った。UIターンを促進する方法や、いなかの魅力の発信が必要。
- ・ 高齢化し、農地を手放す人が多くなった。農事組合法人でカバーしているが、法人がない地域はどうなっているのか心配。法人化を推進してほしい。ただし、経営が苦しい。
- ・ 光回線がない。若い人が来てもネットという基盤がない。整備が必要。
- ・ 観光協会を法人化し、体制を整えてほしい。

府中市観光協会は、平成32年度中の法人化をめざしている。

市長

- ・ 天領の代官所跡地の観光に来られるが、看板の屋根などなくなって、荒れ放題になっている。府中、上下の歴史を大事にするような整備が必要。
- ・ 翁座やゲストハウスを管理するのも法人化して体制を整えたほうが良い。地域の振興になる。
- ・ あやめ、かたくり、四季の里などのキャンプ場も充実している。そこから盛り上げれば、人が増える。
- ・ 矢野温泉を早く再開してほしい。いい観光ルートができ、市も上下も活性化する。広島からも高速バスでくることもできる。

矢野温泉は貴重な資源と考えている。

市長

- ・ 宅地も住宅もないため、上下南小学区に住めない人がいる。
- ・ 市営住宅があいているので、住めるのではないかと。また、それをどこに聞きに行けばいいのかわからない。

市営住宅の入居については条件があるが、募集しているので、ぜひ整備保全課(現:都市デザイン課住宅政策係)に相談してほしい。

部長

- ・ 公民館には、推進委員が派遣されていて印刷代、電気代など地域に負担がないが、上下地区には1か所しかない。上下南小学区に公民館が一つもない。コミュニティ活動を地域でするには障壁がある。
- ・ 夏休みの時期など決まった場所で子どもが地域の人と交流する場がほしい。

夏休みの間も放課後児童クラブをしている。その中で、放課後こども教室を地域の人がしているところもある。子どもに遊びを教えている。市内10校ある内、5校くらいでしている。

市

《防災》

- ・ 市が避難所として開設する町民会館は遠い。
- ・ 矢野町内会で文化会館を避難所に開けている。近いので行きやすい。ただし、テレビなどがなく、情報が入らないため、個人で持ち寄っている。体制を整え、避難所として環境を整えてほしい。

町民会館を避難所に指定しているが、町内会が開設した近くの避難所に避難していただき、その後は、市と連絡をとりながら、場合によっては毛布や水といった必要物資の連絡をしてほしい。

市

- ・ 避難準備情報出ると、町内会と連絡をとりながら、一人暮らしの人などにその都度声をかけて歩く。たびたびなので避難する人も減ってきている。全国的に問題になっているが、避難情報の出し方をもう少し考えてほしい。

避難情報は、夜中に出しても危険で避難ができないため、避難準備情報は明るいうちに出すようにしている。県知事も言っているが、空振り覚悟で出している。

市

- ・ 多額の被害を法人が受けたが、市が支援をしてくれたおかげで損害が少なく食い止めることができた。市独自の支援にきめ細かさがありよかった。実態をつかんだ対応だった。